

## (2) 生活文化の保全対策に係る検討

## 1) 川洲畑栽培実証試験地(案)の選定について

○平取ダム事業用地を対象とする



○保全対象箇所の標高(ダム水位との関係)の確認

○管理上利便性(アクセスのしやすさ)の確認



○立地条件の検討

かつては春先雪解けの大水が引いた後の川べりの泥の堆積地を利用した  
川洲畑の再現かつて川洲畑を行っていた場所と類似した条件  
(土質、融雪出水等で冠水、日当たりがよい)の場所を選定

○実証試験地の選定

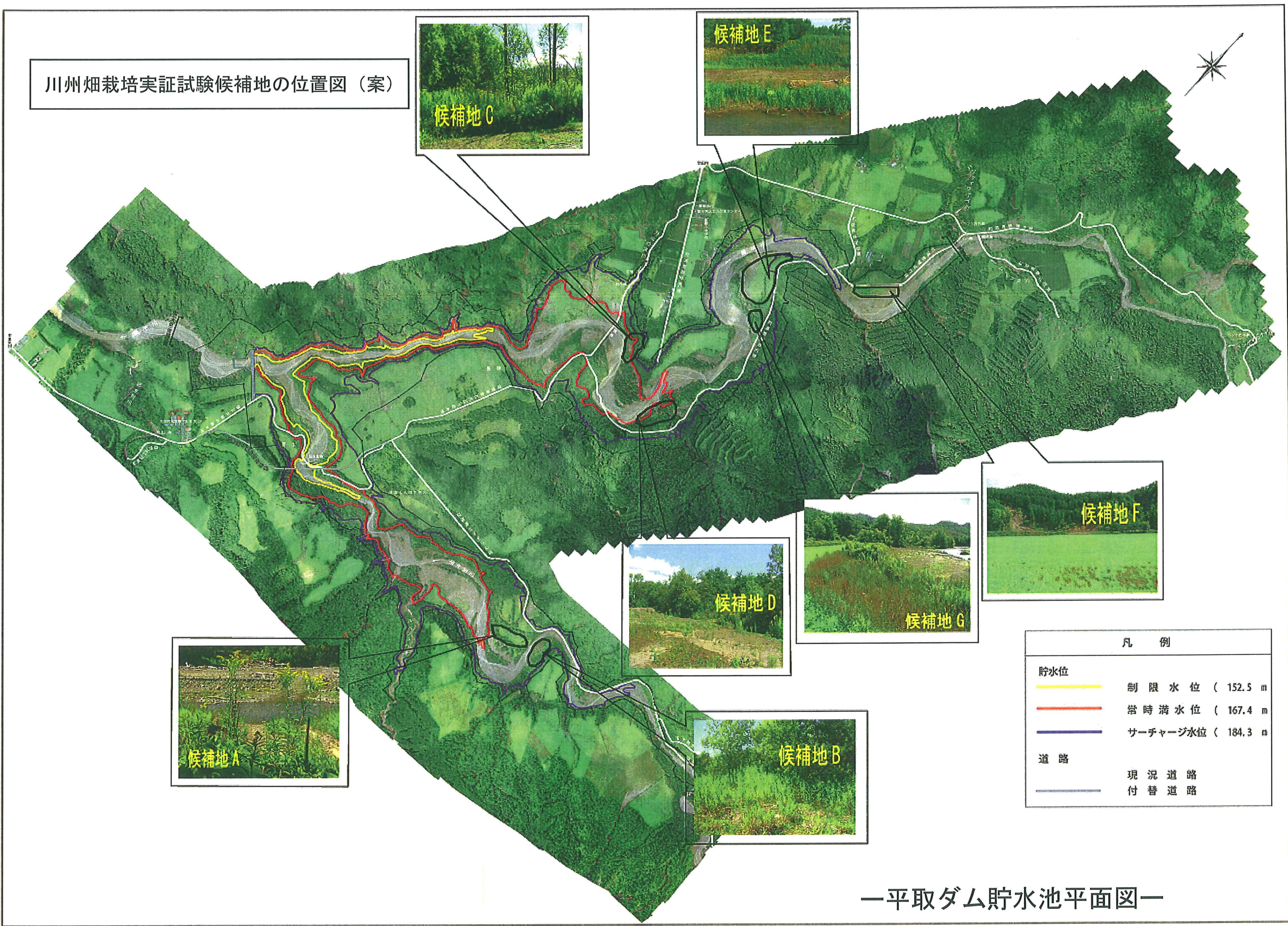
平取ダム事業用地における川洲畑の適地調査(平取町調査班)を中心に、  
現地調査をふまえて、実証試験候補地(案)の選定を行う。

## 2) 川洲畑栽培実証試験計画(案)の想定について

実証試験地の維持管理方法は、以下のように考えられる。

栽培候補種	管理方法
ヒエ アワ イナキビ ソバ	半栽培的管理

川州畑栽培実証試験候補地の位置図（案）



凡 例	
貯水位	
	制限水位 ( 152.5 m )
	常時満水位 ( 167.4 m )
	サーチャージ水位 ( 184.3 m )
道路	
	現況道路
	付替道路

—平取ダム貯水池平面図—

[ 半栽培的管理について ]

○基本的な保全作業

- ・ 現地踏査
- ・ 播種地の選定
- ・ 収穫
- ・ 以後、継続して使う場合は、昨年度の草を除草して播種の場所を設定する

○基本的な頻度

- ・ 巡回して生育状況を見る。
- ・ 月に1回程度
- ・ 収穫間近は月に2、3回
- ・ 収穫の適期を見極める

○年間スケジュール（例）

時期	前年度	春	夏	秋	冬
準備	種の確保				
実証試験地		現地踏査			
		試験地設定			
		畝作り			
		播種	巡回	収穫	
検証					結果の整理